

## 第2 【事業の状況】

### 1 【事業等のリスク】

当第1四半期連結累計期間において、新たな事業等のリスクの発生、または、前連結会計年度の有価証券報告書に記載した事業等のリスクについての重要な変更はありません。

### 2 【経営者による財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の分析】

文中の将来に関する事項は、当第1四半期連結会計期間の末日現在において当社グループが判断したものであります。

なお、当社グループはWEB受託開発・ASPサービス事業の単一セグメントであるため、セグメント別の記載をしておりません。

#### (1) 財政状態及び経営成績の状況

当第1四半期連結累計期間における我が国経済は、新型コロナウイルス感染症における活動制限の緩和や5類感染症への位置付け変更等により、景気は緩やかに回復しております。一方、ウクライナ情勢の長期化による資源・原材料・エネルギー価格の高騰、円安による物価の上昇に加え、世界的なインフレに伴う政策金利の引き上げなどによる海外経済の減速の影響が懸念され、経済環境は依然として予断を許さない状況が続いております。

当社グループの事業領域である情報サービス産業を取り巻く環境については、企業収益の改善傾向が続く中、供給制約の影響を受けつつも、人手不足対応やテレワーク関連投資、デジタル化に向けたソフトウェア投資を中心に、IT投資が引き続き増加基調にあり、当社グループの属する国内CMS市場においてもWEBサイトの重要性が増してきていることから、WEBマーケティングやWEBに関わる業務改善についても興味・関心をもたれる企業が増加しております。また、コロナ禍に伴いデジタルトランスフォーメーション（DX）の取り組みが加速していることや、ChatGPTに代表されるAI技術が大きく注目を集めたことから、企業のAI活用は今後も拡大するものと予想されます。

このような事業環境の中、当社グループは自社開発のWEBサイトコンテンツ管理システム「infoCMS」を活用したWEBサイト構築および構築後のサーバ・システム運用保守などのアフターサポートまでを一貫したWEB受託開発・ASPサービスを主事業とし、子会社である株式会社アイアクトからは、AIを利用したファイル・サイト内検索システム「Cogmo Search」、会話の分岐が可能な第2世代AIチャットボットシステム「Cogmo Attend」のサービスを提供するなど、企業の業務改善DXとWEBマーケティング支援を目的とした事業展開を行っております。

また、当第1四半期連結累計期間においては、簡単にWEBサイトのアクセス分析が可能な「MEGLASS finder」のChatGPT連携によるAI分析機能など、更なるデータ分析業務の効率化とWEBサイトの改善策を自動アシストする機能を追加したバージョンアップ版をリリースするなど、WEB関連商材を拡充するとともに、株式会社アイアクトからは「Cogmo Search」とChatGPTを連携したサービスをリリースしており、AI技術も積極的に取り入れております。

これらの結果、当第1四半期連結累計期間の売上高は394,727千円（前年同四半期比7.6%増）、営業利益は18,249千円（前年同四半期は営業損失11,370千円）、経常利益は278千円（前年同四半期は経常損失12,440千円）、親会社株主に帰属する四半期純損失は14,355千円（前年同四半期は親会社株主に帰属する四半期純損失23,448千円）となりました。

当第1四半期連結会計期間末における総資産は1,553,212千円となり、前連結会計年度末と比較して59,637千円の減少となりました。流動資産は935,198千円となり、前連結会計年度末と比較して80,129千円の減少となりました。これは、受取手形、売掛金及び契約資産が62,687千円、現金及び預金が33,666千円それぞれ減少したこと等によるものであります。固定資産は618,014千円となり、前連結会計年度末と比較して20,492千円の増加となりました。これは、ソフトウェア仮勘定が36,190千円増加したこと等によるものであります。流動負債は365,734千円となり、前連結会計年度末と比較して27,512千円の減少となりました。これは、未払消費税等が34,923千円減少したこと等によるものであります。固定負債は262,792千円となり、前連結会計年度末と比較して26,177千円の減少となりました。これは、長期借入金が24,999千円減少したこと等によるものであります。純資産は924,685千円となり、前連結会計年度末と比較して5,946千円の減少となりました。これは、利益剰余金が14,355千円減少したことによるものであります。

## (2) 研究開発活動

当第1四半期連結累計期間の研究開発費の総額は1,771千円であります。

なお、当第1四半期連結累計期間において当社グループの研究開発活動の状況に重要な変更はありません。

## 3 【経営上の重要な契約等】

該当事項はありません。